

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社クラ・ゼミ コペルプラスジュニア井土ヶ谷教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境面(清潔・構造化・スペース確保)が高評価	構造化(動線・掲示・視覚支援)と清掃を徹底し、活動内容に合わせて机・教材配置を調整している。	活動動線の定期点検と安全面の見直し(危険箇所・掲示物)を継続し、より安心して過ごせる環境を維持する。
2	こどもの特性に応じた専門性のある支援・個別支援計画に沿った支援	アセスメントとモニタリングを基に、スモールステップで課題設定し、職員間でケース共有して支援の一貫性を保っている。	担当変更時の引継ぎを標準化(保護者ニーズ・支援意図の要点シート化)し、説明の手間やズレを減らす。
3	安心して通所できる/楽しみにしている等、満足度が高い	保護者との対話を大切にし、連絡手段(面談・LINE等)で状況共有とフィードバックを丁寧に行っている。	相談内容の受付→対応→フォローの記録を残し、一定期間後に確認連絡を行うなど、継続的な家族支援につなげる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員体制の変動に伴い、担当変更時の保護者ニーズの引継ぎが十分でない場面がある	異動・配置変更により情報が断片化しやすく、記録様式や共有ルールが統一できていない。	引継ぎシート(保護者ニーズ・支援の狙い・家庭連携ポイント)を運用し、定例カンファレンスで要点を共有する。
2	支援プログラムや日々の取組が、保護者に具体的に伝わりにくい	実施していても、どの活動でどう取り入れているかの説明が抽象的になり、情報が届きにくい。	通信・面談で「今月の実施内容(具体例)」を定期共有し、掲示物・資料も更新して「見える化」を強化する。
3	家族支援・交流機会、非常時対応(安全計画・訓練・事故時対応等)の周知が十分でない	必要性が家庭により異なる領域である一方、案内・周知のタイミングや方法が限定的で「わからない」回答につながっている。	希望者向けに家族支援・交流を選択制で実施し、入所時説明+年1回周知+訓練後報告で安全関連の情報提供をルーチン化する。